

令和5年度第1回 宗像市健康づくり推進協議会議事録

日 時：令和5年7月5日（水）
19時00分～20時40分
場 所：市役所北館1階 103A 会議室

出席委員：委員、栢田委員、伊東委員、三木委員、吉田委員、中谷委員、世戸口委員、今田委員、緒方委員、石松委員、高山委員、北野委員、野中委員、吉永委員
事務局：【健康福祉部】林田部長 【健康課】安川課長、山本主幹、倉富係長、秋葉主任管理栄養士、田中主任保健師

（事務局）宗像市健康づくり推進協議会規則第5条第2項により、現在、委員15人のうち14人参加で過半数を超えるので、会議は成立。議事録署名人を昨年度からの続きの委員名簿順で、願います。

1. 開会あいさつ

（会長あいさつ）

（事務局）再確認の意味も含めて、改めて趣旨を説明する。本協議会は、健康づくり、食育に関する各分野において、経験、知識をお持ちの委員の皆様と協議し、施策に反映させるための会。また、健康づくり事業の啓蒙・普及啓発活動に市とともに取り組んでいた。現在の宗像市の健康・食育計画『健康むなかた21』、『健康むなかた食育プラン』は、この協議会で協議し、策定した。本日は、その進捗状況と今後の取組について報告、協議させていただきたい。また、宗像市自殺対策推進計画においては、本協議会の中で、実施状況を報告し、多方面からの意見や情報を取り入れながら、効果的に自殺対策を推進することとなっている。この計画についても取組を報告し、御意見をいただきたい。

2. 新任委員紹介

（事務局）新任委員紹介。委嘱状は事前に交付した。

3. 委員紹介

（委員名簿順で自己紹介）

4. 職員紹介

（市職員自己紹介）

5. 報告事項

（会長）報告事項、事務局説明を。

(1) 令和4年度の健康づくり・食育の取組状況について

（事務局）令和4年度に行った市民アンケートからのがん検診受診率は令和3年度より2～4%程度下がっている。また特定健診受診率向上のために、令和4年度は特定健診受診券を対象者へ一斉送付を行った。その結果、特に個別医療機関での受診が大幅に増加した。

（事務局）コロナの影響により、中止となった取り組みもあるが、コミュニティや各団体の地域での活動が再び活発になってきていることがうかがえる。

（事務局）市健康課の取組として、毎年食育講演会を実施しており、令和4年度は「おい

しく元気に久山町研究に学ぶ」と題して、中村学園大学の内田先生にご講演いただき、67人の参加があった。

(1) 令和4年度の健康づくり・食育の今後の取り組みについて

(事務局) 集団健診の申込方法にWEB申込を新たに開始。6月末時点で、約1,000件のWEB申込あった。後期高齢者健康診査は、健診センターでの受診を希望する場合にかん検診と一緒に市に申し込むことができるようになった。

(事務局) 今後の取り組みを説明。例年通り事業を実施。

(会長) 以上の報告事項について、意見、質問あれば。

(委員) がん検診について。宗像市において、がん検診の精密検査を受診した人のうちがん陽性の人数が知りたい。

(事務局) この場では質問のデータについて資料がないため、議事録送付の時に添付資料としてつける形で回答したい。またがん検診で要精密判定になったら、精密検査まできちんと受診することを啓発していく。

(委員) リーダー養成講座では、ただ受講するのではなく、受講後地域のリーダーとして活躍してもらうようにフォローアップ事業等で啓発してもらいたい。

(事務局) リーダーの活躍できる場などを作るなど工夫していきたい。

(会長) 自身の報告として、昨年再開した旬の野菜を育て食べる活動を行うことで、少しずつ学生同士がコミュニケーションをとって、食育について考える機会が増えた。日本赤十字九州国際看護大学では、健康日本21(第二次)の評価等について説明を行ったとあるが、学生の健康状況や現状の変化などを教えてもらいたい。

(委員) ニギニギ体操などを授業中に紹介している。実際にやってもらい自分の体力状態を確認。家族にも広めてもらっている。また宗像市で住民の健康を守るために何が行われているのか学生に自分事として考えてもらっている。

(委員) 宗像医療フォーラムとして糖尿病と腎臓病の講演会を今年の11月18日に企画している。健診センターでも保健指導を実施していると聞いているが、健診センターでの保健指導の数について知りたい。

(事務局) 本日報告した相談件数は市が実施した特定保健指導数であるため、センター健診で実施された保健指導件数は含まれておらず、その件数も把握はしていない。コロナの影響で特定保健指導の実施率は、なかなか伸び悩みはあったが、これから少しずつまた上げていきたい。

(委員) コロナで啓発など実施できていなかったが、今年度からまた実施していきたい。

(会長) 「『いいな、いい歯。』」週間に合わせて無料歯科健診や「宗福歯っぴいフェスティバル」実施。健診を実施した反応や来場者の反応は、いかがだったか。

(委員) 「いいな いい歯」週間に無料歯科健診を実施。市民に十分に浸透はしていないが今後も実施していく。また「宗福歯っぴいフェスティバル」では宗像歯科医師会が健診と歯周病等のスライドによる講習を実施。かなりの参加者があった。

(委員) 歯にいいおやつ配布だとか栄養相談を実施。身近な相談事に対応することができた。栄養士が市民の方と話ができる機会が少ないため、とてもいい機会だった。

(事務局) コロナがあった中で、学校での歯科保健などの取り組みについて気がかりなこと等をお伝えいただきたい。

(委員) 自校での話となるが、ブラッシング指導は例年、歯科衛生士にきてもらい指導してもらっていた。コロナになりブラッシング指導がなくなった。今年度からは子どもたち用に1人1人画用紙で歯の模型を作って、工夫をしながらブラッシング指導をした。

食育についてもコロナの影響が出ている。調理実習では、担任が1人分ずつ材料を分けて、個人で自分の分だけ作って食べるということをしてきた。今は少しずつ変わってきて、みんなで笑って食べられるようになった。学校現場は少しずつ通常通りに戻ってきている。

(会長) できるだけ早く通常に戻ってほしい。

(2) 第3次健康むなかた21及び第3次健康むなかた食育プラン策定

(事務局) 健康日本21(第三次)について説明。当市の今後のスケジュールは、令和6年度に第2次健康むなかた21・食育プランの最終評価を行う。そして令和7年度に当協議会や市内の協議を深め、第3次の計画の策定作業を行い、令和8年度から第3次計画に基づき健康づくりをすすめていくということになる。

(3) 令和4年度自殺対策推進計画について

(事務局) 宗像市の人口10万に対しての自殺死亡率は令和4年は、12.34と全国の17.25に比べて少ない結果だった。宗像市自殺対策推進計画の終了が2024年(令和6年)、次期計画は令和6年度中に作成していく予定。次期計画案についても健康づくり推進協議会でご意見をいただきたい。

(会長) 以上の報告事項について、意見、質問あれば。

(委員) 資料のグラフより自殺死亡率の低下等が続いているのは、非常に本当にすばらしいなと思った。かなり宗像市は頑張っているということが分かった。いろんな対策をさ

れていて、その中から効果があった施策を上げるとしたらどれになるか。

(事務局) 自分は自殺対策強化事業を担当している。心の健康づくり健診の質問票を配布し、該当者に電話連絡している。電話連絡すると話を聞いてもらって心が軽くなった等のご意見をたくさんいただく。今後も継続していきたい事業。

(委員) 今後もぜひ、続けていただきたい。企業等にも広げられたらいいなと思う。

(委員) 福岡県は今年度より2期の自殺対策計画を開始している。子どもについて、ハッピークローバーの活動等も宗像市の自殺率の低い一因であると思う。国は「自殺対策総合大綱」の中で、「コロナ感染拡大の影響を踏まえた対策の推進」を掲げており、自殺への影響について、情報収集や分析をすすめていくと聞いている。また、子どもや女性に対する対策をしっかりと行っていかなければならないと聞いている。PTAに所属する委員に保護者からみた子どもたちの現状等を質問し、皆さんと共有できればと思う。

(委員) 所属する学校に確認をした。県のスクールカウンセラーが、月に1回訪問して相談に乗っている。重い相談というより、学習や友人関係について第三者の大人に聞いてほしい子が多い。コロナで子どもたちも人と接する機会が少なかったが、面談を通して人の温かみを肌で感じる機会となっている印象と教頭から話をきいている。またわが子が通う保育園では、未就園児に園を開放し、同世代の子どもの遊び方等子育ての悩みを、保護者が保育士や栄養士に直接話を聞く機会が持てるということで、好評と聞いている。

(委員) ありがとうございます。自殺は、「その多くが追い込まれた末の死」とよく言われるように、いくつもの小さいストレスが重なった末に最後に…というようなところがあると聞いている。なので、(問題が) 小さいうちに、様々な対応をしていくことが大切。ゲートキーパーの研修で、子ども達に対応するゲートキーパー等を養成していくのもいいのかと思った。

(4) 健康づくり関連行事について

(事務局) 9月14日、心の健康づくり講演会、ゲートキーパー養成講座を実施。その他資料参照。各委員からいただいている情報もあるので、各委員より紹介いただきたい。

(委員) 日赤看護大では公開講座を実施。また1月6、7日に公衆衛生看護学会が、北九州国際会議場で実施。皆様方の参加をお願いする。

(委員) 福岡県のスマートソルティング事業を紹介する。今年度県の重点事業ということで、減塩の工夫がされた献立の作成やレシピのコンテスト等のイベントを考えている。一緒に盛り上げていただければと思う。

(会長) 意見、質問あれば。その他何かあれば発言を。なければ以上で進行を事務局に返す。

(事務局) 今後の予定について説明する。今年度の本協議会の開催については、現段階では未定。必要に応じて、日程の調整をする。来年度については、自殺対策推進計画の策定と、健康むなかた 21 食育プランの最終評価の年。そのため本協議会の皆様から、多方面の意見や情報を取り入れながら進めていきたいと考えている。令和 6 年については、本協議会の開催回数も増える見込み。よろしく願います。

7. 閉会あいさつ

(事務局)